

すいせい



- 1面 小学校出前講座報告他
- 2面 17期サポーター養成講座他
- 3面 サポーター投稿記事他
- 4・5面 工事現場見学会 様子
- 6・7面 工事現場見学会 感想
- 8面 下水道局 局長紹介他

編集・発行 広島市下水道局経営企画課
サポーター会員数/94人 平成23年1月13日現在

今年度の小学校出前講座終了！

4月26日の大州小学校からスタートし、11月19日の五月が丘小学校（PTC活動）まで、66校5168名の児童（保護者）に受講していただきました。

下水道サポーターの皆さまには、延べ76名の方にご協力いただきました。ありがとうございました。

活動の様子



	実施数	サポーター	受講人数
22年度	66校	76名	5,168名
(内 PTC)	(4校)	—	(615名)
21年度	57校	79名	4,701名
20年度	45校	64名	3,870名
19年度	35校	—	2,689名

※サポーターは講座にご協力いただいた延べ人数

今年も66校の小学校出前講座を始め、ふれあいフェアや打ち水大作戦など、市民の皆さんに、下水道について知っていただく多くの機会を得ることができました。その都度、サポーターの皆様方には、細かな準備や対応、講師までもお引き受けいただき、心より感謝申し上げます。ご存知のように、下水道についての積極的な情報発信は、大変重要な責務と考えております。より多くの市民の皆さんに下水道に関する情報を提供し、理解を深めていただけるよう努めてまいりますので、今後とも、ご支援ご協力くださいますようお願い申し上げます。

経営企画課
課長 藤原 直隆

お知らせ

今回（第6号）の下水道サポーター通信から、協議会のロゴマーク「スイセイ」にちなんで、「すいせい」のネーミングで発行させていただきましたことになりました。

新しく4名の方が下水道サポーターの仲間になりました！ よろしくお願いたします。

安佐北区 山根 光夫さん 安芸区 河野まゆみさん
安佐南区 井坂 信義さん 南区 加藤 悠さん

人物紹介

我らがボス！そして今年度出前講座を主に担当した下水道局職員の紹介をさせていただきます！

下水道局長
向井 政博



Masahiro Mukai

- ① 1953年7月10日
- ② 小型
- ③ 広島県（大野町）
- ④ 尽人事待天命
- ⑤ 社交ダンス
- ⑥ 広島の地酒を並べて飲む
- ⑦ 晴耕雨読
- ⑧ 新市長と議論すること

- ① 生年月日
- ② 血液型
- ③ 出身地
- ④ 好きな言葉
- ⑤ ストレス解消法は？
- ⑥ 100万円を夢に使うとしたら何に使う？
- ⑦ 80才の自分は何をしている予定？
- ⑧ 今年の目標

夏の暑い日も、雨の日も風の日も、出前講座にご協力頂き本当にありがとうございます。来年度もどうぞよろしくお願いたします。

杉原 一



Hajime Sugihara

- ① 1948年1月6日
- ② 型には決してハマらない
- ③ 山口県
- ④ 人間万事、塞翁が馬
- ⑤ ゴルフの練習
- ⑥ 超高級チャリでサイクリング
- ⑦ 碁会所通い
- ⑧ 健康に留意する

重田 和恵



Kazue Shigeta

- ① 19xx年12月13日
- ② 大型
- ③ 広島県（倉橋島）
- ④ 一期一会
- ⑤ drinking!
- ⑥ ビジネスクラスでNYへ
- ⑦ 飛鳥で世界一周クルーズ
- ⑧ 謙虚な心を持つ

広島市下水道サポーター協議会ロゴマーク【スイセイ】



【スイスイ】
(社)日本下水道協会
マスコットキャラクター

合流改善パンフレット作成中!

下水道局計画調整課で合流改善のパンフレットを作成するにあたり、下水道サポーター（運営委員）の方々のご意見を伺いながら、計画調整課職員がパンフレットの作成を進めています。



計画調整課 岩本利昭

この度のパンフレット作成にあたり、サポーター（運営委員）の皆様には、お忙しい中ご協力をいただき深く感謝しております。皆様からのアドバイスやご意見を参考にし、まもなく完成予定です。楽しみに待っていて下さい。

クイズの答え 【正解 ①】

広島市が下水道事業に取りかかったのは明治41年で、東京、横浜、大阪、仙台の各市について全国で5番目の早さでした。昭和11年には、広島市の人口31万人に対し排水人口約28万人、12か所のポンプ場がありました。（このころ下水処理場はありませんでした。）ところが、昭和20年の原爆の被災により役に立たなくなり、戦後、相当な遅れをとって下水道事業が再開されました。

工事現場見学会感想

工事現場を見て人が生活するためには、このような大がかりな設備が必要だということが解りました。

自然を大切にしながら、汚泥の再利用、太陽光の発電、熱やガスの再利用も考えていけたらいいと思います。

汚水処理場の管理は年間を通じて、冬季が難しいとか、活性汚泥はにおいと色でその状態が解る等、武山課長補佐の積年の経験からくる話しは解り易く説得力がありました。ありがとうございました。

工事現場の様子は、パンフレットやレジメに記述された工事概要の数値では計り知れない規模の現実がドカ〜と目の前に広がり、我が家の近隣では決して見ることができない光景。「百聞は一見にしかず」と言いますが、気の遠くなりそうな大きな数字より、こうして見るにより実感として解ることが出来ることを痛感しました。

工事現場で断面図と平面図を広げ、状況写真と進捗率、完成予定を把握した時、図面を設計された方々や、それに係わる人たちの偉大さに驚きと尊敬の念すら感じました。又、工事現場では立て看板に図示された表示は見応えが、また説明は聞きごたえがあるもので、盛り沢山の内容が私の目と頭を刺激しました。

最後にこのような施設見学を計画された下水道局経営企画課の職員の方々にお礼申しあげたい。感謝!! 感謝!!

下水道クイズ

広島市が下水道事業に取りかかったのはいつでしょうか？

- ①明治 41 年
- ②大正 5 年
- ③昭和 21 年



※答えは8ページにあります。

第17期下水道サポーター養成講座開催

10月19日の第1回目から、11月30日の第4回目までの日程で「第17期下水道サポーター養成講座」を行い7名の方が受講されました。

下水道の仕組みと役割、排水設備、下水道ビジョン、下水道事業財政にわたり、少ない人数でしたが、みなさんとても熱心で、質問や意見も飛び交った講座となりました。

また、第3回の施設見学はスケールの大きさに一同感激の様子でした。



▲向井下水道局長から修了証交付

以前からボランティア活動として行っている料理講習会で、参加者の方々に食器や鍋の汚れをできるだけ流さないように話をしているうち、自分自身が環境について感心を持つようになりました。下水といえば汚水処理と聞いていましたが、勉強会を通して災害時の避難場所に仮設トイレ用のマンホールがあるなど、災害対策としての下水道の役割も知ることができました。

私たちが普段も災害時も快適な生活を送るのに下水道が大切なことが改めて解りました。これからもできる範囲で下水道の大切な役割を伝えるための活動に協力していきたいと思っています。

第17期 河野まゆみ



下水道ふれあいフェア開催

9月12日、西部水資源再生センターにて、「下水道ふれあいフェア」が開催されました。下水道サポーターの皆さまには、六角絵のコーナーを担当していただき、700枚の六角絵がすべてなくなる大盛況のコーナーとなりました。



サポーターの皆さま！暑い中、ご協力ありがとうございました♪ (*_*)